

竹原 正人 議員（代表質問）

1 子ども達の学習環境について

- (1) 先月5月8日から、新型コロナウイルス感染症の、感染症法の取り扱いが「5類相当」に移行し、コロナ前の生活に戻りつつある中、コロナ前からの子ども達の学習環境はどのような変化をし、今後どのように進化させていくのか見解を伺う。
- (2) 現在、1人1台のタブレット端末を使用し、ICT教育の充実を図っているが、すべての児童、生徒がどのように理解し、活用しているのか実情を伺う。
- (3) ICT機器は数年すると時代遅れになり耐用年数も長くない現状を見れば、現在使用している端末も入れ替え時期が近い将来やってくる。補助金頼みで初期導入ができたが、今後の予算措置について見解を伺う。
- (4) 今定例会において、サマースクールと題して、なめりかわ未来学校プロジェクト業務委託費100万円が計上されている。
 - ア なぜ企画調査費での予算なのか。予算根拠も含めて伺う。
 - イ いつ、誰がこの事業に取り組もうと考えたのか。経緯を伺う。
 - ウ 事業内容について、今回どのように取り組んでいくのか目標について伺う。
 - エ 今後継続して毎年事業化していくのか。

2 中学校部活動の土日の地域移行について

- (1) 今定例会で、中学校部活動の地域移行実証事業として予算計上されているが、国の支援事業を活用しての事業である。今回、5種目、10部活動がこの事業対象であるとの説明であったが、詳細な内容を伺う。
- (2) いつまで国が補助金を出すか不明なまま取組を進めると、いずれ市の単独予算での対応も考えていかななくてはならない時期が来る。指導者の確保等、今後の進め方について見解を伺う。
- (3) 運動部同様、文化部についても同等に考えていかなければならないが、取組について今後どうするのか見解を伺う。

3 コミュニティバス事業について

- (1) 今年度中に新しく小型バスが導入されるが、5月の市長定例記者会見では直近に導入したバスを含め、2台を滑川高校の美術部、写真部の皆さんとコラボ企画でラッピングバスを制作するとのことであった。キラリンでは駄目だったのか。
- (2) コミュニティバスは乗客を乗せていなくても、市内を走っていることから、市内行事等の案内告知をする移動広告車としての役割も必要であると以前から要望してきたが一向に取り入れてもらえない。企業広告も例年通りの横ばいの状態が続いている。今回のラッピングに期待したいが、どのように考えているのか。
- (3) 小型バスの導入に際し、これまで走行できなかった道路幅員の狭い道路などを運行することができることから、利用者の利便性の向上を図るためにも、今後思い切ったルートを選定などが必要ではないか。見解を伺う。

4 ふるさと龍宮まつり海上花火大会について

- (1) 花火大会の協賛状況について、市制70周年記念として盛大に開催できるよう、順調に推移しているのか。
- (2) 今回、ふるさと納税に、花火大会の観覧席を対象にした返礼品が追加されたが、実績はどうなのか。

原 明 議員（代表質問）

1 観光振興について

- (1) 外国人観光客誘致に向けた今後の取組について
- (2) 外国人向けの観光案内パンフレットや情報の発信は。
- (3) 富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏加入による活動状況について
- (4) 富山湾岸クルージング岩瀬ルートの実績はどうか。魅力あるルートの開設を進めるべきではないか。
- (5) 市制 70 周年記念事業として、市内の祭りをグレードアップする補助や、上市町とのタイアップとあるが、どのような事業を予定しているのか。
- (6) 過去にも参加した『台湾美食展』への出店による滑川市のPR活動は考えられないか。

2 農業の振興について

- (1) 滑川市の農業の在り方や農地利用を進める、地域計画の策定準備の状況について
- (2) 学校給食への有機野菜の使用量と品目について
- (3) 学校給食への滑川産野菜、果物の使用状況について

3 有害鳥獣の被害について

- (1) 滑川市での有害鳥獣による被害状況は。
- (2) ニホンジカの被害が初めて魚津市で確認されたが、滑川市での被害は。

4 滑川海浜公園キャンプ場について

- (1) 4月29日にオープンしたキャンプ場とバーベキュー施設の利用状況について
- (2) 自動販売機の設置と日陰が欲しいとの声があるが対応は。
- (3) 立山連峰や富山湾、能登半島の案内板の設置について

5 海水浴場について

- ・ 海浜公園の近くに海水浴場をつくれないうか。

6 行田公園内の花菖蒲園の整備について

- ・ 欠株補充、防虫対策等と土壌改良を含めて整備する予定と聞くがどのような計画か。

7 市内の道路、河川の管理と整備について

- (1) 市道の舗装、ガードレール、ガードパイプやセンターライン等の点検管理並びに整備の状況について
- (2) 中川放水路の堆積土砂や雑草の除去について

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 教育について

(1) 中学校部活動の地域移行について

国は中学校部活動の地域移行を2025年度まで完了する方針であったが、努力目標となった。滑川市では昨年のモデル事業を踏まえて、今回の補正で2中学10クラブ分336万円が計上されている。順調に移行しているかのようなのだが、問題点も浮上しているのではないか。現況と今後の方針を問う。

(2) なめりかわ未来学校プロジェクト事業（サマースクール）について

ア 実施する目的と狙いは。

イ 具体的な内容について

ウ 募集人員と募集方法はどのようなのか。

エ 子ども達や教員の負担となつてはならないと考えるが見解を問う。

2 新型コロナウイルス感染症について

(1) 6回目のワクチン接種申請状況はどうか。

(2) 学校における感染症対策で緩和されたこと、継続されていることは何か。

(3) これまでコロナ感染症に係るものはほとんどが無料であったが、今後具体的にどうなるのか。

3 マイナンバーカードについて

(1) 滑川市での取得はどの程度進んでいるのか。

(2) 国の指示が徹底されていなかった「公金受取口座」について、本市において誤登録はあったのか。

(3) 滑川市で他人情報の入力ミスなどその他のトラブル等は大丈夫か。

水橋 真治 議員（一般質問）

1 子育てについて

- (1) 子ども未来サポートセンターについて
特定妊婦やヤングケアラーの方を対象に支援員が訪問し、家事育児の支援を行う子育て世帯訪問支援事業の現在の状況について伺う。
- (2) ファミリーサポートセンターについて
仕事と育児を両立し安心して働き続けることができるように育児をサポートするファミリーサポート事業の現在の状況について伺う。
- (3) 病児病後児保育について
病児病後児保育施設の開設予定について伺う。

2 学校教育について

- (1) 5月8日以降の小中学校の学習活動について
コロナ禍で制限されていた体験学習や集団活動、行事等について伺う。
- (2) 校務のデジタル化について
県と連携した市内小中学校の校務のデジタル化はどこまで進んでいるのか伺う。

3 DXについて

- (1) 市民のDXについて
スマホ教室開催の成果と課題について伺う。
- (2) まちづくりDXについて
町内会情報伝達アプリ「結ネット」の現在の導入状況及び導入予定について伺う。
- (3) 市役所のDXについて
ア DX人材の育成や窓口手続きのデジタル化は、どの程度進んでいるのか伺う。

イ AI、RPA等のデジタル技術が導入される予定はあるのか。導入によって業務はどのように改善されるのか伺う。

4 防災を含む安全対策について

- (1) 地震、津波、土砂災害、洪水に対する備えについて
様々な災害発生時の関係職員の対応、関係機関、町内会との連携、避難場所、備蓄品等について伺う。
- (2) 公共施設の安全性について
市内の公共施設の安全点検は適正に行われ、修繕等は適切になされているか伺う。

5 市制70周年記念事業について

- (1) 既に実施された事業の成果について伺う。
- (2) 今後実施する事業の課題について伺う。
- (3) 市制70周年の記念誌の発行予定はあるのか伺う。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 市制施行70周年記念事業「芸術文化・スポーツイベント等開催事業補助金」について

- (1) 応募結果と進捗を問う。
- (2) 各事業の事業規模や補助額の公表について見解を問う。

2 SDGs 未来都市について

- (1) 今年5月、内閣府より令和5年度「SDGs 未来都市」等の選定結果が公表され、SDGs 未来都市には28自治体、自治体SDGs モデル事業には10事業が選定された。累計では、全国で182都市（183自治体）がSDGs 未来都市に選ばれ、60都市が自治体SDGs モデル事業となった。本市においても令和5年度提案書を提出したが、選定されなかった。
昨年6月定例会では、SDGs 未来都市の提案に対する一般質問もあったが、計画に関する具体的な答弁はなく、「地域課題の洗い出しや整理は段階的に行っていき、ステークホルダーと共に施策の検討を行い、応募することを目標とする」と答弁された。提出した計画の詳細を問う。
- (2) 選定を受けた場合のメリットを質問した際「SDGs の理念は地方創生に通じ、SDGs 未来都市に選定されることは、より良い地方自治体に向かっているという指針になるとともに、仮に選定に至らなかった場合も含め、選定に向け市民や職員が一丸となって取組を推進することで、日本で一番幸せなまちづくりを達成するというゴールに自分たちで近づいていくという過程が、市にとって最大のメリットである」との答弁であったが、提出に至るまでの過程を問う。
- (3) 今回提出した施策は、市の指針として取り組むことになるのか、それとも選定に至らなかったから取り組むことはないものなのか。また、令和6年度の選定に向けて取り組むのかを問う。

3 地域脱炭素・地球温暖化対策の取組について

- (1) 環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱等を定めるものとして、平成30年に第5次環境基本計画が閣議決定され、令和5年から次期基本計画の策定に向けた検討が行われている。第5次環境基本計画で示された基本的方向性では、各地域が自立・分散型の社会を形成し、補完し支えあう「地域循環共生圏」の創造を目指すこととしている。これは、環境省が示してきた「地域循環圏」と「地域共生圏」の考え方であった、廃棄物のリサイクルや二酸化炭素等の環境負荷削減の環境政策分野と自然保護、保全に関する分野が統合したものとし、平成30年から開始され環境問題解決への環境・経済・社会の統合的アプローチの政策思想を反映するものである。

本市においても第5次滑川市総合計画において、環境保全対策の推進を図るにあたり滑川市地球温暖化対策実行計画、滑川市地域新エネルギービジョン等と関連付けて進められているものとするが、これまでの再生可能エネルギーの利活用実績、今後の環境負荷削減等の環境政策分野における環境、経済、社会の統合的アプローチの展望を問う。

- (2) 環境省は「地域脱炭素ロードマップ」「地球温暖化対策」及びGX実現に向けた基本方針に基づき、民間と共同して脱炭素に取り組む地方公共団体に対し地域脱炭素トランジションへの投資として「脱炭素先行地域」を選定し再エネ等設備導入や基盤インフラ設備、省CO₂等設備の導入など各種補助事業の優先採択による支援を行っている。また、総務省は、本年度から3年間で公共施設の再生可能エネルギー設備導入に際し最大5割程度を支援する制度を設けている。

また、本年2月10日、「GX実現に向けた基本方針」が決定され、6月6日に開催された再生可能エネルギー・水素等関係閣僚会議では、平成29年に策定された「水素基本戦略」の改定があり、国は地方自治体等に対し積極的な情報提供や普及啓発等を図り、計画策定支援や環境教育などを通じ、自治体が水素利活用に参画しやすい支援に取り組むとともに各種水素関連設備の導入促進や既存インフラの活用による低コスト化、ランニングコストの低減を通じた地域水素サプライチェーンの普及拡大方策の具体化に取り組むとしたところだが、本市の今後のインフラ設備や各設備導入の必要性及び本市の財政規模等による各設備導入を積極的に行う可能性について見解を問う。

安達 真隆 議員（一般質問）

1 漁業振興及び漁港周辺の運営について

- (1) 今年のホタルイカの漁獲量は過去最低だったと聞いている。見解を問う。
- (2) 今後のホタルイカ漁への支援対策は。
- (3) ほたるいか海上観光の今後の在り方について考えを問う。
- (4) ほたるいかミュージアムの今後の利活用について考えを問う。
- (5) 滑川蒲鉾跡地について検討状況を問う。
- (6) 以前提案したウニの畜養について検討状況を問う。

2 滑川市公共施設廃止後の利活用について

- (1) タラソピアについて
 - ア 解体する場合の費用はいくらかかるのか。
 - イ 今後の活用策をどう考えているか。
 - ウ 大手カフェチェーン店の誘致など考えてはどうか。
- (2) 青雲閣について
 - ア 解体費用はいくらかかるのか。
 - イ 解体後の跡地利用計画はあるのか。
 - ウ 青雲閣とS Lホテルを一本化して、別にコンパクトな研修施設の建設を考えてはどうか。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 国保と市民の健康について

- (1) 今回提案の国保税条例改定での影響について
 - ア 最高限度額引き上げで影響を受ける世帯数と増税額
 - イ 新たに2割軽減、5割軽減対象になる世帯数と減税額
- (2) 県の資料によれば、令和3年度の本市の国保の「療養諸費」が前年比115%の458,657円で県下最大の増加率になった。どう分析し、対応しようとするのか。
- (3) 同じ資料によれば、令和3年度の1世帯当たりの本市国保税調定額は151,682円。一方、本市国保世帯の約60%は所得額が100万円以下である。国保税の負担感についての認識を改めて問う。

2 マイナ保険証について

- (1) マイナンバーについてのトラブルが毎日報道されている。混乱は医療機関の窓口、市町村の窓口で起きる。保険証に限らず、他の人との間違い、口座の間違いなどは、本市で確認されているか。
- (2) 保険証のトラブルは、命にもかかわる。来年秋に現行保険証が廃止されることへの不安が強いがどう考えるか。
- (3) マイナ保険証を持たない市民の保険診療はどうなるのか。高齢者施設では入所利用者の保険証や、そのコピーを預かって、医療機関への通院に対応していることから、今後の対応に困惑していると聞くが。
- (4) 「資格確認書」を発行するとも伝えられるが、「申請」によるのか。
- (5) 国民皆保険制度を崩壊させるおそれがある。国に「保険証廃止の中止」を求めるべきである。保険医療に携わる医師、歯科医師の団体である保険医団体連合会は「廃止の中止」を、複数の全国紙、地方紙でも社説で「廃止の見直し」を求めているが、どう考えるか。

高川 正樹 議員（一般質問）

1 防災訓練について

- (1) 防災訓練の内容について伺う。
- (2) 3月定例会の市長提案理由説明に「中滑川複合施設メリカにおいて定期的に防災啓発事業を実施する」とあったが、今回の防災訓練に関連して行う事業はあるか。
- (3) 関係団体との協議は進んでいるか。

2 交通安全について

- (1) 市民にどのような交通安全対策を行っているか伺う。
- (2) 交通死亡事故ゼロの連続日数を更新しているが、この要因をどのように分析しているか。
- (3) 道路交通法の改正により、4月から努力義務となっている自転車用ヘルメットの着用について、どのように周知しているか。

3 市からの情報発信について

- (1) 滑川市のホームページには、各課からのお知らせなど様々な情報が掲載されているが、その管理はどのように行われているか伺う。
- (2) 滑川市のホームページについて、見やすさ、わかりやすさなど、どのように考えているか伺う。

4 過去に質問した項目について

- (1) 市が設置した看板の状態悪化を職員が発見した場合には担当課へ速やかに連絡するよう、改めて全職員に周知することであったが、対応した看板等はあるか伺う。

- (2) フットボールセンター富山の利用について、市独自の助成事業が考えられないか質問した際、県サッカー協会と協議しながら検討したいとの答弁であったが、改めて市独自の助成事業を考えることはできないか伺う。
- (3) 市役所敷地内の池の噴水が故障してから数年が経過しているが、故障したままの状態であることをどのように考えているか伺う。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 重点事業に関する要望について

- (1) 新たな警察署の整備について、これまでの市と県との協議の経緯と進捗は。
- (2) 重点要望の中に、本市の国道8号上島神社前交差点周辺での新たな警察署の整備についての記載がある。西加積地区及び上島町内会との話し合いや意見聴取は行ったのか。またどのように誘致する予定なのか。
- (3) 北アルプス横断道路構想の実現については継続要望であるが、現在の県の回答はどのようなものか。
- (4) まちづくりなど公民連携による実証・実験的取組への支援について、要望の具体的な目的は何か。

2 タラソピアについて

- (1) タラソピアについてサウンディング型市場調査を行ったとのことだが、具体的な提案はあったか。
- (2) タラソピア廃止後の活用については、どの程度の予算規模を想定しているのか。

3 民主主義についての考え方を問う

- ・ 地方議会は、日本国憲法第93条及び地方自治法第89条等に基づき地方公共団体に設置される議事機関であるが、間接民主制（議会制民主主義）について考え方を問う。

4 過去に質問した項目について

- (1) 3月定例会において、財務の公表について民間で使用している指標を取り入れるよう要望した。答弁では「いろいろな指標があるのでいろいろな形で公表したい」とあったが進捗はどうか。

- (2) 3月定例会では70周年にキラリンに関する内容がない旨の質問をした。市長から「キラリンの絵本で何か考える」とのことであったが進捗はどうか。

中川 勲 議員（一般質問）

1 滑川ほたるいか海上観光について

- (1) 今年の出航率は51.4%で、昨年の63.1%を下回り、乗船者は1,048人であった。県内外や海外からも多くの方々が予約されているようだが、多くの方に楽しんでもらうにはそれなりの対策が必要であると思うが。
- (2) 欠航時における観光客の反応はどうであったか。また、どんな対応をしたのか。
- (3) 市長は記者会見で、「個人的な考えだが、出航率を上げ、遠くから漁だけでも見られるような手法を検討したい」と説明されたようだが、具体的な考えはあるのか。

2 タラソピア・青雲閣について

- (1) タラソピアと青雲閣は、今年度をもって廃止するとのことであるが、利用者の方々について、どう考えているのか。
- (2) タラソピアは、規模を縮小してでも残すことはできないか。海洋深層水を利用したものを何か考えているのか。
- (3) 青雲閣についても、多くの児童生徒や社会人が研修などに利用できる施設を考えるべきと思うが。

3 未整備状態にある市有地について

- ・ 滑川漁港周辺・滑川蒲鉾跡地の利活用方針はまだ出ないのか。また、旧市営住宅滑川駅前団地は、空き地状態が続いているがどうするのか。

4 S D G s について

- ・ 予算化されているが具体的にどう進めるのか。

5 通学道路について

- ・ 東部小学校の児童生徒約80人が通学道路としている市道北野浜四ツ屋線に、歩道を整備すべきと思うが考えを伺う。

吉森 真人 議員（一般質問）

1 公共施設設備の維持管理について

(1) みのお温泉について

ア 温泉（入浴）利用客の推移を問う。

（コロナ禍前、コロナ禍、本年の4・5月で比較）

イ 昨年12月10日より源泉の供給停止が続いている。4月に原因調査するとあったが結果について問う。

ウ 今後の対応についての温泉供給会社の現在の意向及び当局としての考えを問う。

(2) 市内の蒸気機関車の維持管理について

ア 東福寺野自然公園のS LホテルのD51について

(ア) 市の強い要望と旧国鉄の好意によって設置されたS LホテルのD51の維持管理はどのように行っているのか。

(イ) 価値のあるものであり、公園と一体となり良い景観となっている。より良くする意味でも修繕しキャブ内（運転台）に入れるようにしたらどうか。

イ 旧児童館跡地にあるコッペル社製の蒸気機関車について

(ア) これまでも多くの議員から質問され何年も経過しているが、進捗状況が見えてこない。今後の機関車の活用や移設、修繕等について考えを問う。

(イ) 新児童館敷地への移設や誕生100周年記念展等を実施し、観光スポットの一つとしたらどうか。

2 小中学校への教育支援について

(1) 不登校児童生徒等への支援について

ア 文部科学省は、フリースクールやICTを活用した学習活動でも要件を満たせば出席扱いにできると公表している。本市においても出席扱いにする考えはあるのか問う。

イ 本市においてもフリースクール等に通う児童生徒たちへ公的支援を行ってはどうか。

ウ 県教育委員会では本年度よりスクールカウンセラー（SC）のスーパーバイザーを配置し、SCや教員等への助言や緊急事案の対応を支援することとなったが、本市においてスーパーバイザーの配置及び活用の検討はされているのか。

エ 本年度より心の教室相談員を増員されたが、各校における心の教室の利用状況を問う。(過去との比較等)

- (2) 育休や内地留学等で休職している教職員の代替教員等が配置されていないと聞くが、対応はどうなっているのか。また、授業の進捗に問題はないのか。

3 D X 推進について

- ・ 本定例会の補正予算にD X推進事業費として計上された718万8千円について、デジタルデバイド対策が主であると認識している。スマホ教室の開催、デジタル支援員の配置、マイナポイント支援等の費用であるが、今一度詳細な内訳を問う。(事業別費用等)

開田 晃江 議員（一般質問）

1 安全確保の取組について

- (1) 公共交通機関は沿線自治体のインフラであると捉え、支える仕組みが必要である。富山地方鉄道的人身事故の教訓をもとに安全確保のため経費を沿線自治体で負担するなど検討してはどうか。
- (2) 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が成立し、今後の動向が気になるが、市としてどのような姿勢で取り組むのか、問う。
- (3) スポーツ・健康の森公園、陸上競技場について
 - ア スポーツ・健康の森公園、陸上競技場の夜間照明がとても暗いとの意見が多い。どのような利用を想定した照度となっているのか。
 - イ 公園の安全のため、現在の利用に合わせた照明が必要と考えるが、どうか。
 - ウ 陸上競技場のタータントラックがすり減って、スターティングブロックのピンが刺さらず固定できなかつたと聞いているが、更新予定はないか。

2 海の観光・道の駅について

- (1) タラソピアは道の駅周辺を中心施設でもあることから、海の観光の一翼を担う事業者の選定や活性化のアイデアを幅広く募る方策など、多角的かつ具体的な検討が早急に求められる。市はタラソピアを令和6年3月に廃止するとしているが、その後の施設活用方策について、どう考えるのか伺う。
- (2) ほたるいかミュージアム開館30周年に向けて
 - ア ほたるいかミュージアム2階のレストラン光彩は展望が素晴らしく、富山湾の壮大な夕日を眺めながら美味しい食事がいただけると評判もよい。一方、エレベーターの利用が難しいことから、高齢者などが利用を敬遠すると聞いている。5年後の開館30周年を機に、エレベーター設置を検討してはどうか。
 - イ VR体験の実績や評判はどうか。
 - ウ ホタルイカがいない時期でも体験できるVR体験は、年間を通じた観光の魅力向上が期待されるが、今後の活用をどのように考えているのか、伺う。

エ 昨年開催した深層水サウナやサンセットヨガは大好評でファンも増えていると聞いている。こうした取組に合わせて、ほたるいかミュージアムの入場料の割引や記念品の提供など、30周年に向けて盛り上げていく必要があると考えるが、どうか。

オ はまなす公園は日除けのためのあずまやや遊具もなく、トイレも古い。子供たちや市民の皆さんに気持ちよく利用してもらえるよう、30周年に合わせて整備を検討してはどうか。

(3) 滑川のゆでガニは、ゆで方に工夫がありとても美味しいと評判も高い。今定例会にカニの施設改修の予算が計上されているが、施設自体が相当古くなっており、効果が小さいのではないかと思われる。もっと投資をし、リニューアルをして、建物に大きく『カニの絵』を描いて滑川のゆでガニを戦略的にPRをし、新たなブランド化を図ってはどうか。

(4) 浜の活力再生プランの中で、漁港を含めた一体的改革が進められていくと考える。タラソピアの廃止は、逆に人を呼び込むためのチャンスでもあると考える。ほたるいかミュージアムの取組やはまなす公園の改修等、大きな投資が滑川に新たな魅力と活力を運んでくれるものと思うが、浜の活力再生プランでの一体的取組で『魅力創造の町・滑川』の構築を。

3 みのお温泉について

- ・ 温泉供給元の4月の調査結果はどうだったか。市民の皆さんに対する公表はいつ頃か。

4 障がい者雇用について

- (1) 滑川市役所における、障がい者雇用率はどうなっているのか。
- (2) 市全体の障がい者雇用の現状はどうか。

5 部活動地域移行について

- (1) 部活動の地域移行にあたり、それぞれの部活動の特色を把握し、二つの中学校の活動に隔たりが生じないようにするなど、トータルコーディネート役が必要と考えるが、誰が担うべきと考えるか。

- (2) これまで指導者の確保や育成が急務とされていたが、人材確保、管理責任者の明確化、スポーツ保険の取扱い、指導者への謝礼、大会参加旅費の負担など、整理すべき課題も多い。保護者、関係者、体育協会、競技団体等で構成する協議会を立ち上げて進めるべきと考えるが、部活動の地域移行について、市の取組と現在の状況はどうか。
- (3) 既に実施しているバドミントン部についての評価はどうか。

谷崎 潤一 議員（一般質問）

1 滑川市版SDGs推進事業について

- (1) SDGs推進事業における「地方公共団体実行計画（区域施策編）」策定のための、企業・市民向けアンケートの内容はどのように考えているのか問う。
- (2) アンケートで得られた基礎情報をどのように活かして、目標設定するのか問う。
- (3) 地域特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入目標として、マイクロ水力発電（小水力）を検討する予定はあるのか。
- (4) 防草対策に優れたカーボンオフセット認証取得のリサイクルガラス造粒砂を、海浜公園バーベキュー広場をはじめ市内公共施設に利用してみているかどうか。

2 滑川市内の子育て支援について

- (1) 滑川市は他市町村と比較しても子育て支援が充実していると思うが、今後の子育て支援の展望はどうか。
- (2) 子育て支援の次なる一手として、事前登録不要の病児保育の開設は検討できないか。